



デトネーション研究会@近江高島

全国のデトネーション研究をリードする研究者と学生が集う勉強会&ネットワークイベント

2018年8月31日から9月2日の2泊3日で、白浜荘（滋賀県近江高島市）にてデトネーション研究会の「若手夏の学校2018」が開催され、当研究室から講師のひとりとして水書教授が、受講側として院生2名、学部生1名が参加しました。この夏の学校は、毎年開催され、全国のデトネーションを研究している大学から60名以上の参加者があります。

午前・午後の講義では、デトネーションの基礎理論、数値解析法、実験技術、など多岐にわたる内容です。今回は、各研究室の参加学生に、それぞれの研究内容の口頭（院生

以上）、あるいはポスタ発表を行い、優秀学生が表彰されました。

一方、単なる勉強会だけでなく、学生間あるいは学生と教員間の交流を促進するためのレクリエーションも充実していることも特徴です。研究室紹介、毎晩の討論会（もちろんアルコール有）、スポーツ大会など、幹事校の腕前が発揮されます。

当研究室では、このような大学間交流を多く行う事で、学生の研究に対するモチベーションの向上とネットワークの拡大を進めていきたいと考えています。